



## 2025年3月期 第2四半期（中間期）決算短信〔日本基準〕（非連結）

2024年11月1日

上場会社名 株式会社昭和システムエンジニアリング 上場取引所 東  
コード番号 4752 URL <https://www.showa-sys-eng.co.jp/>  
代表者 (役職名) 代表取締役社長 (氏名) 尾崎 裕一  
問合せ先責任者 (役職名) 経理部長 (氏名) 五十嵐 真貴 TEL 03-3639-9051  
半期報告書提出予定日 2024年11月13日 配当支払開始予定日 ー  
決算補足説明資料作成の有無：有  
決算説明会開催の有無：無

(百万円未満切捨て)

### 1. 2025年3月期第2四半期（中間期）の業績（2024年4月1日～2024年9月30日）

#### (1) 経営成績（累計）

(%表示は、対前年中間期増減率)

	売上高		営業利益		経常利益		中間純利益	
	百万円	%	百万円	%	百万円	%	百万円	%
2025年3月期中間期	4,032	2.0	546	△8.8	555	△9.0	382	△9.0
2024年3月期中間期	3,951	16.2	599	42.5	610	42.7	420	43.1

	1株当たり 中間純利益	潜在株式調整後 1株当たり 中間純利益
	円 銭	円 銭
2025年3月期中間期	88.24	—
2024年3月期中間期	96.01	—

#### (2) 財政状態

	総資産	純資産	自己資本比率
	百万円	百万円	%
2025年3月期中間期	8,116	5,106	62.9
2024年3月期	8,285	4,931	59.5

(参考) 自己資本 2025年3月期中間期 5,106百万円 2024年3月期 4,931百万円

### 2. 配当の状況

	年間配当金				
	第1四半期末	第2四半期末	第3四半期末	期末	合計
	円 銭	円 銭	円 銭	円 銭	円 銭
2024年3月期	—	0.00	—	50.00	50.00
2025年3月期	—	0.00	—	—	—
2025年3月期（予想）	—	—	—	50.00	50.00

(注) 直近に公表されている配当予想からの修正の有無：無

### 3. 2025年3月期の業績予想（2024年4月1日～2025年3月31日）

(%表示は、対前期増減率)

	売上高		営業利益		経常利益		当期純利益		1株当たり 当期純利益
	百万円	%	百万円	%	百万円	%	百万円	%	円 銭
通期	8,200	3.0	920	1.2	932	0.9	666	0.8	153.77

(注) 直近に公表されている業績予想からの修正の有無：無

※ 注記事項

(1) 中間財務諸表の作成に特有の会計処理の適用：無

(2) 会計方針の変更・会計上の見積りの変更・修正再表示

- ① 会計基準等の改正に伴う会計方針の変更：無
- ② ①以外の会計方針の変更：無
- ③ 会計上の見積りの変更：無
- ④ 修正再表示：無

(3) 発行済株式数（普通株式）

① 期末発行済株式数（自己株式を含む）	2025年3月期中間期	4,810,000株	2024年3月期	4,810,000株
② 期末自己株式数	2025年3月期中間期	478,801株	2024年3月期	478,801株
③ 期中平均株式数（中間期）	2025年3月期中間期	4,331,199株	2024年3月期中間期	4,374,816株

※ 第2四半期（中間期）決算短信は公認会計士又は監査法人のレビューの対象外です

※ 業績予想の適切な利用に関する説明、その他特記事項

本資料に記載されている業績見通し等の将来に関する記述は、当社が現在入手している情報及び合理的であると判断する一定の前提に基づいており、その達成を当社として約束する趣旨のものではありません。また、実際の業績等は様々な要因により大きく異なる可能性があります。業績予想の前提となる条件及び業績予想のご利用にあたっての注意事項等については、添付資料3ページ「1. 経営成績等の概況 (3) 業績予想などの将来予測情報に関する説明」をご覧ください。

○添付資料の目次

1. 経営成績等の概況 .....	2
(1) 当中間期の経営成績の概況 .....	2
(2) 当中間期の財政状態の概況 .....	2
(3) 業績予想などの将来予測情報に関する説明 .....	3
2. 中間財務諸表及び主な注記 .....	4
(1) 中間貸借対照表 .....	4
(2) 中間損益計算書 .....	5
(3) 中間キャッシュ・フロー計算書 .....	6
(4) 中間財務諸表に関する注記事項 .....	7
(セグメント情報等の注記) .....	7
(株主資本の金額に著しい変動があった場合の注記) .....	7
(継続企業の前提に関する注記) .....	7

## 1. 経営成績等の概況

### （1）当中間期の経営成績の概況

当中間会計期間におけるわが国経済は、資源価格の高騰、物価上昇、国際的な情勢不安に加え、世界的な金融引き締めの影響など先行き不透明感はありますが、雇用・所得環境が改善する下で、各種政策の効果もあって景気は緩やかな回復が続くことが期待されます。

当社を取り巻く情報サービス産業においては、ビジネスモデルの変革を行うデジタル化の推進やシステム刷新、クラウドサービス等の投資意欲は引き続き高い状況で今後もシステム投資需要は拡大が見込まれます。

このような環境下、当社は2022年4月からの中期経営計画「+transform 2nd Stage」の最終年度を迎え、引き続き4つの基本方針①DXの推進、②既存ビジネス領域の維持・拡大、③社内デジタル基盤の強化、④人材確保と働き方改革のもと、パイモータルなDXカンパニー実現に向け積極的な事業活動に取り組んでまいりました。

また、常態化する人材不足に対しては重点施策である人材採用と育成・研修において、引き続き積極的な投資を行ってまいります。

その結果、当中間会計期間は顧客のシステム投資需要が堅調に推移し、売上高4,032百万円（前年同期比2.0%増）、利益面においては成長投資を含む販管費の増加により、営業利益546百万円（前年同期比8.8%減）、経常利益555百万円（前年同期比9.0%減）、中間純利益382百万円（前年同期比9.0%減）となりました。

### （2）当中間期の財政状態の概況

#### ① キャッシュ・フローの状況

当中間会計期間末における現金及び現金同等物（以下「資金」という。）は、前事業年度末に比べ112百万円減少し、4,071百万円となりました。

当中間会計期間における各キャッシュ・フローの状況とそれらの要因は次のとおりであります。

#### （営業活動によるキャッシュ・フロー）

営業活動の結果獲得した資金は103百万円（前年同期は204百万円の獲得）となりました。

収入の主な要因は税引前中間純利益555百万円、減価償却費の計上11百万円、退職給付引当金の増加8百万円であり、支出の主な要因は賞与引当金の減少173百万円、未払金の減少76百万円、未払消費税等の減少31百万円、法人税等の支払額152百万円によるものであります。

#### （投資活動によるキャッシュ・フロー）

投資活動の結果獲得した資金は0百万円（前年同期は5百万円の使用）となりました。

主な要因は貸付金の回収による収入0百万円であります。

#### （財務活動によるキャッシュ・フロー）

財務活動の結果使用した資金は216百万円（前年同期は175百万円の使用）となりました。これは配当金の支払216百万円によるものであります。

② 財政状態の状況

(流動資産)

当中間会計期間末における流動資産は6,595百万円 (前事業年度末比104百万円減少) となりました。主な要因は仕掛品が7百万円増加したものの、現金及び預金が112百万円減少したことによるものであります。

(固定資産)

当中間会計期間末における固定資産は1,521百万円 (同64百万円減少) となりました。主な要因は投資その他の資産に含めた投資有価証券の時価評価が14百万円増加したものの、繰延税金資産が67百万円減少したことによるものであります。

その結果、当中間会計期間末における資産合計は8,116百万円 (同169百万円減少) となりました。

(流動負債)

当中間会計期間末における流動負債は937百万円 (同353百万円減少) となりました。主な要因はその他に含めた未払金が74百万円、未払法人税等が43百万円、賞与引当金が173百万円減少したことによるものであります。

(固定負債)

当中間会計期間末における固定負債は2,072百万円 (同8百万円増加) となりました。これは退職給付引当金が8百万円増加したことによるものであります。

その結果、当中間会計期間末における負債合計は3,010百万円 (同344百万円減少) となりました。

(純資産)

当中間会計期間末における純資産合計は5,106百万円 (同175百万円増加) となりました。これは配当金の支払216百万円による利益剰余金の減少があったものの、中間純利益382百万円による利益剰余金の増加及びその他有価証券評価差額金9百万円の増加によるものであります。

(3) 業績予想などの将来予測情報に関する説明

2025年3月期の通期業績予想につきましては、2024年5月13日に発表いたしました業績予想数値に変更はありません。

2. 中間財務諸表及び主な注記

(1) 中間貸借対照表

(単位：千円)

	前事業年度 (2024年3月31日)	当中間会計期間 (2024年9月30日)
<b>資産の部</b>		
流動資産		
現金及び預金	5,783,834	5,671,107
売掛金及び契約資産	880,459	883,567
仕掛品	2,577	10,218
その他	33,047	30,508
流動資産合計	6,699,920	6,595,401
固定資産		
有形固定資産	157,425	153,580
無形固定資産		
ソフトウェア	52,112	45,459
その他	3,332	3,332
無形固定資産合計	55,444	48,791
投資その他の資産		
繰延税金資産	692,702	625,081
その他	680,392	693,941
投資その他の資産合計	1,373,094	1,319,022
固定資産合計	1,585,964	1,521,395
資産合計	8,285,884	8,116,797
<b>負債の部</b>		
流動負債		
買掛金	310,552	306,443
短期借入金	10,000	10,000
未払法人税等	174,233	130,678
賞与引当金	459,537	286,488
その他	336,356	203,927
流動負債合計	1,290,679	937,538
固定負債		
役員退職慰労未払金	60,973	60,973
退職給付引当金	2,003,187	2,011,879
固定負債合計	2,064,160	2,072,852
負債合計	3,354,840	3,010,390
<b>純資産の部</b>		
株主資本		
資本金	630,500	630,500
資本剰余金	553,700	553,700
利益剰余金	3,995,800	4,161,409
自己株式	△301,719	△301,719
株主資本合計	4,878,280	5,043,889
評価・換算差額等		
その他有価証券評価差額金	232,142	241,895
土地再評価差額金	△179,378	△179,378
評価・換算差額等合計	52,763	62,516
純資産合計	4,931,044	5,106,406
負債純資産合計	8,285,884	8,116,797

(2) 中間損益計算書

(単位：千円)

	前中間会計期間 (自 2023年4月1日 至 2023年9月30日)	当中間会計期間 (自 2024年4月1日 至 2024年9月30日)
売上高	3,951,209	4,032,047
売上原価	3,132,063	3,241,415
売上総利益	819,145	790,632
販売費及び一般管理費	219,849	243,785
営業利益	599,296	546,846
営業外収益		
受取利息	115	154
受取配当金	6,929	6,930
受取家賃	930	930
受取手数料	238	227
雑収入	2,743	472
営業外収益合計	10,956	8,714
営業外費用		
支払利息	25	28
営業外費用合計	25	28
経常利益	610,228	555,532
税引前中間純利益	610,228	555,532
法人税、住民税及び事業税	130,275	110,047
法人税等調整額	59,937	63,316
法人税等合計	190,212	173,363
中間純利益	420,016	382,168

(3) 中間キャッシュ・フロー計算書

(単位：千円)

	前中間会計期間 (自 2023年4月1日 至 2023年9月30日)	当中間会計期間 (自 2024年4月1日 至 2024年9月30日)
<b>営業活動によるキャッシュ・フロー</b>		
税引前中間純利益	610,228	555,532
減価償却費	12,550	11,572
賞与引当金の増減額 (△は減少)	△130,479	△173,049
退職給付引当金の増減額 (△は減少)	△39,140	8,692
受取利息及び受取配当金	△7,045	△7,085
支払利息	25	28
売上債権の増減額 (△は増加)	△118,745	△3,107
棚卸資産の増減額 (△は増加)	△15,554	△7,640
その他の流動資産の増減額 (△は増加)	2,966	2,613
仕入債務の増減額 (△は減少)	2,420	△4,108
未払消費税等の増減額 (△は減少)	11,023	△31,734
未払金の増減額 (△は減少)	30,671	△76,061
その他の流動負債の増減額 (△は減少)	△19,239	△26,539
その他	60	60
小計	339,740	249,171
利息及び配当金の受取額	7,049	7,047
利息の支払額	△53	△65
法人税等の支払額	△141,940	△152,901
営業活動によるキャッシュ・フロー	204,796	103,252
<b>投資活動によるキャッシュ・フロー</b>		
定期預金の預入による支出	△1,300,000	△1,300,000
定期預金の払戻による収入	1,300,000	1,300,000
有形及び無形固定資産の取得による支出	△650	—
貸付金の回収による収入	664	672
差入保証金の差入による支出	△4,089	△33
会員権の取得による支出	△1,700	—
その他	△144	△84
投資活動によるキャッシュ・フロー	△5,920	555
<b>財務活動によるキャッシュ・フロー</b>		
自己株式の取得による支出	△38	—
配当金の支払額	△175,065	△216,534
財務活動によるキャッシュ・フロー	△175,104	△216,534
現金及び現金同等物の増減額 (△は減少)	23,771	△112,727
現金及び現金同等物の期首残高	3,661,166	4,183,834
現金及び現金同等物の中間期末残高	3,684,938	4,071,107



(4) 中間財務諸表に関する注記事項

(セグメント情報等の注記)

【セグメント情報】

I 前中間会計期間 (自 2023年4月1日 至 2023年9月30日)

報告セグメントごとの売上高及び利益又は損失の金額に関する情報並びに収益の分解情報

(単位: 千円)

	報告セグメント			調整額(注) 1	中間損益計算書 計上額(注) 2
	ソフトウェア開 発事業	BPO事業	合計		
売上高					
SEサービス	3,516,977	67,617	3,584,594	—	3,584,594
受注制作	366,615	—	366,615	—	366,615
顧客との契約から生 じる収益計	3,883,592	67,617	3,951,209	—	3,951,209
セグメント利益	809,748	9,397	819,145	△219,849	599,296

(注) 1. セグメント利益の調整額△219,849千円は、報告セグメントに帰属しない販売費及び一般管理費であります。

2. セグメント利益は、中間損益計算書の営業利益と調整を行っております。

II 当中間会計期間 (自 2024年4月1日 至 2024年9月30日)

報告セグメントごとの売上高及び利益又は損失の金額に関する情報並びに収益の分解情報

(単位: 千円)

	報告セグメント			調整額(注) 1	中間損益計算書 計上額(注) 2
	ソフトウェア開 発事業	BPO事業	合計		
売上高					
SEサービス	3,696,168	39,331	3,735,500	—	3,735,500
受注制作	296,547	—	296,547	—	296,547
顧客との契約から生 じる収益計	3,992,715	39,331	4,032,047	—	4,032,047
セグメント利益	784,180	6,451	790,632	△243,785	546,846

(注) 1. セグメント利益の調整額△243,785千円は、報告セグメントに帰属しない販売費及び一般管理費であります。

2. セグメント利益は、中間損益計算書の営業利益と調整を行っております。

(株主資本の金額に著しい変動があった場合の注記)

該当事項はありません。

(継続企業の前提に関する注記)

該当事項はありません。